

今こそ、圧倒的な票で、 たかがい恵美子さんを当選させよう。

1970（昭和45）年、無所属であった石本茂議員が与党自由民主党に入党し、看護政策は飛躍的に充実した。看護連盟はその後、代表議員を自由民主党に送り続けてきた。長い間、自由民主党以外の政権を担う政党が事実上なかった。

2009（平成21）年8月の総選挙で、本格的な政権交代が起きた。今後は、政権を担いうる2つの政党が、緊張した関係の中で政治を行うしくみになるだろう。看護連盟にとっても新たな対応を迫られる事態となった。

しかし、まだしばらくは政治のあり様がどうなるかが見えない中で、早急に組織の方針やあり方を結論付けることは、かえって組織の弱体化を招きかねない。組織の信頼を失いかねない。

私たち看護連盟は、来るべき新しい時代に対応するために、慎重に丁寧に議論をかさね、着実に未来の姿へと進化していく。このための検討を、さっそく組織のあり方検討委員会に諮問したい。

一方、来年の参議院選挙に向けた対応については、現実を踏まえた判断を早急にしなければならない。

たかがい恵美子さんは、2009（平成21）年6月の日本看護連盟の総会で擁立を決定して以来、自由民主党から立候補することを前提として活動を続けてきた。このたびの衆議院選挙でも看護連盟はこれを前提に積極的な活動し成果をあげた。

このような中で、来年夏の参議院選挙必勝に向けて総力を結集するためには、現在の方針からぶれることなく自由民主党からの出馬することが現実的な選択肢である。たかがい恵美子さんは自由民主党公認候補として出馬する。

今回の政局により、確かに当選ラインは上るだろう。しかしこのハードルは私たちが当初からめざしていたものと大きくは変わらない。総力が結集さえすれば、ハードルを越えることは決して不可能ではない。

今、大切なことは、総会で決めた方針を貫き、圧倒的な票でたかがい恵美子さんの当選を果たすことである。来年の参議院選挙で、「看護職は力がある」ことを社会に見せることこそが、看護連盟の未来の姿へ進化を促す。

看護界の総力をあげて、看護の代表たかがい恵美子さんを当選させようではないか。

2009年10月4日
日本看護連盟会長



時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、ご助力を賜りありがとうございます。皆様の励ましをエネルギ―として、ますます元気に活動を続けてさせていただいております。

さて、去る十一月二十六日、日本看護協会理事会より、日本看護連盟の方針を支持しないとする見解が発表されました。これまで共に活動してきてくださった皆様に、大きな衝撃を与える結果となつてしまい、たいへん残念でなりません。

しかし、たかがい恵美子の活動は、皆様の支えによって成り立っているものです。この歩みを、止めてはならないという思いを、一層強くしております。私たちの活動は、日本の看護を守るため、日本の社会保障を守るための取り組みです。

この挑戦の動機は極めてシンプルです。それは、日本社会の行く先を思うとき、国民が安心して暮らせる社会保障を実現し、一人ひとりのいのちが、何時如何なる時も守られなくてはならない、ということなのです。

いま私たちは、誰も経験したことのない時代に突入しつつあります。総人口が減り、働き手の割合が減り、生まれる子どもはもっと減る。そのなかでますます高齢化が進みます。

今年生まれた子どもが、高校生になるころには、国民の三人に一人が六十五歳以上となっております。そのとき、どのような社会を構築しなければならないのかとうことは、いのちのそばに常に寄り添い、生きる力を支えている看護職が、ひと足先に気付いています。私たちの現場で起こっていること、悩んでいること、こうなりたいと願っていること。そうした中にこそ、未来に向けて、整えていく

べき社会保障のしくみが芽生えています。

「いつか誰かがやってくれるだろう」という姿勢は、社会保障の専門家としての責務を放棄するのと同じことです。看護職が気付いていることを、今こそ言葉にして伝え、社会が必要とするしくみを提案し、その実現のために行動しなければ。このままの状態が続けば手遅れになる。今が社会保障の大きな転換点である。私は、そんな強い危機感をもっています。

次の社会の生きる力を守るのは看護の力、そうなるべく、はじめの一步を踏み出したのが一年半前でした。それから日本看護協会の役員として、候補予定者として、多くの皆さまと共に、今日まで歩み続けてきました。

残された時間はあと半年あまりです。たとえ今は野党であろうとも、どうか私を「社会保障を実現する大切な財産」である看護職を守る、その最先鋒に立たせ働かせてください。私、たかがい恵美子は、社会保障制度の危機に対し、人の生きる力を守るプロとして全力を尽くし、この使命を全うすることをお誓い申し上げます。

皆さま各々のお立場を有することは、十分理解しております。しかし、その上で、看護職仲間として、私の行動をご理解いただけるものと信じております。一人ひとりの情熱とともに、私は、来たる七月に新たなスタート地点に立つための活動を続けて参ります。これからも変わらぬご支援を伏してお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、時節柄、どうかご自愛され、益々のご活躍を祈念申し上げます。

平成二十一年十二月十八日

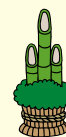
たかがい恵美子

NAGASAKI




看護連盟だより

2010
新春



本気! やる気! 根気!

~何事にも  イ! ~



目

次

| | | | | |
|----------------------------------|-------|---------------------|---------|----|
| 長崎県看護連盟会長挨拶..... | 2 | 南野知恵子議員講演会 | } | 9 |
| 長崎県看護協会会長挨拶..... | 3 | 日本看護連盟都道府県別会議 | | |
| 新年のごあいさつ..... | 4 ~ 5 | 見て見て私達のユニフォーム..... | | 10 |
| 名誉会長挨拶..... | 6 | 新入会者研修会..... | | 11 |
| ポリナビワークショップ..... | 7 | お知らせ・会員の声・編集後記..... | | 12 |
| 支部役員徹底研修 長崎市議会議員との学習会 } | 8 | | | |



あけまして おめでとうございます



長崎県看護連盟会長 **金 澤 きみ代**

皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、日頃から、連盟活動にご協力いただき感謝しています。

2010年。寅年。“とら”は目標を決めたらすぐに行動にうつし、燃えたぎるような情熱で、積極果敢にチャレンジしていくそうです。

看護連盟の今年の目標はただ一つ！**たかがい恵美子さんの参議院議員当選**です。

“とら”のごとく目標達成に向け頑張りましょう！

昨年2009年を振り返ってみますと、7月9日第171回通常国会の衆議院本会議で保健師助産師看護師法、看護師等人材確保法などの改正案が可決、成立しました。看護の教育に関する改定で、昭和26年以来となる教育改定です。そして努力義務ではありますが新人臨床研修および卒後研修が制度化されたのです。

看護協会は、「看護の新たな時代の幕開けとなる大きな一歩として高く評価するものです。」という表現を使っていました。このことは看護職の組織代表である国会議員の力によるものであります

政権が交代した今も、代表を国政に送り続けなければいけません。今回の代表は“たかがい恵美子”さんであることはすでにご承知だと思います。昨今の状況のなかで、当選のハードルが3年前の2倍以上であるという厳しい状況の中で活動することは大変です。

しかしながら、会員の皆様お一人おひとりが確実に2人のアンフィニを育て、自分と共に3票を獲得したら、けっして難しいことではありません。今まで培ってきた活動を一人ひとりが本物にしていく、そして、それが結集してはじめて目的が達成されます。看護の未来のために、皆様のご協力をよろしくお願いします。





あけまして おめでとうございます

長崎県看護協会会長 氏 田 美知子

あたらしい年の始め、皆様はどのような新年をお迎えになりましたでしょうか。

昨年は今までにない大きな変化の年でした。

保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部を改正する法律が、平成21年7月15日に公布され、**卒後の臨床研修が努力義務化**されました。また、**看護師基礎教育の充実・保健師助産師の教育の充実等**も法律に盛り込まれました。

これらを実現し、発展させていくためには、行政とともに国政への働きかけが必須となると思います。政権交代という大きな変化が起こり、混乱もありましたが、看護連盟は一貫して、**たかがい恵美子さんを国政の場**にということで頑張っておられます。

たかがい恵美子さんは今までも看護政策の場に関わり、多くの業績をあげてこられた方と伺っております。長崎県看護協会でも看護職を国政の場に送ることは、今後の看護の発展に必要でありますので、たかがい恵美子さんを応援し、国政の場で活躍していただきたいと思います。





日本看護連盟 会長 清水 嘉与子

明けましておめでとうございます。看護連盟にとって存否をかける重要な年になりました。

昨年8月の総選挙後は看護連盟にとってまさに激動の日々でした。予想を超える自民党大敗の衆議院総選挙で、果たして自民党からたかがい恵美子さんを当選させることができるのか、なぜ自民党からなのか、何度も臨時会長会を開いて真剣な議論を重ねた結果、与党であれ野党であれ、看護や医療に関する政策決定の最高機関である国会に看護代表を送ることは看護界にとって絶対に必要である、しかも引退される南野参議院議員の後継者を送るために展開してきた活動は続けるのが当然、何としても成功させようという全国会長たちの強い意思を確認して、看護連盟はぶれることなくこれまでの活動を進めてきました。確かにこれまで以上にハードルが高くなることは覚悟せざるを得ません。看護連盟の底力を今こそ発揮していただかなければなりません。会員一人ひとりが一層の大きな支援の輪を広げる運動をして下さい。是非皆さんとともに喜びの日を迎えたいと願っています。

新年のご



参議院議員 南野 知恵子

長崎県看護連盟の皆様

あけまして おめでとうございます。旧年中は多くのご支援・ご指導に心より感謝申し上げます。議員として最後のお正月に願う事は、夏の勝利であります。先輩・仲間の方々からいただいた議席を守らなければなりません。伝統ある看護連盟の絆を更に強め、輪を大きくして、たかがい候補には確実にその席に座ってほしいのです。国民の方々を実感していただける安心安全な医療・看護・介護の提供が出来るように、皆様方と共に頑張りましょう。今年の寅年にあやかり

- ・雑念にトラわれる事なく
- ・トラぶるに巻き込まれる事なく
- ・自分に合った何かにトラいでき
- ・多くのトラの子に恵まれる年になれば嬉しいと思います。

今年は18年の学びの区切りの年となります。長年のご鞭撻に感謝し、残された永田町での日々に最後迄努力を重ねたいと思います。



衆議院議員

あべ俊子

新年あけましておめでとうございます。昨年は皆様のお力添えのおかげさまで再び国政の場へ送り出して頂くことができました。あらためて長崎県看護連盟の皆様のご支援の大きさをかみしめ、心より感謝いたしますとともに、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は関係各位のご尽力により、念願の「保助看法」「看護師等の人材確保に関する法律」の改正という成果が得られたことは、看護界にとって明るい話題となりました。

2期目を迎えた今、看護の諸課題の解決に向けさらに全力で頑張るとともに、国民の皆さまの期待に応えられるよう、党の再生にも真摯に取り組む所存です。

本年7月の参議院議員選挙には、看護職出身のたかがい恵美子さんが自民党公認で立候補します。国政の場で看護の政策に取り組む私達の仲間を増やすためにも、圧倒的な票でたかがい恵美子さんを当選させるべく、今後とも皆様の温かいご支援を賜りたく心よりお願い申し上げます。

あいさつ



参議院比例代表候補予定者

たかがい恵美子

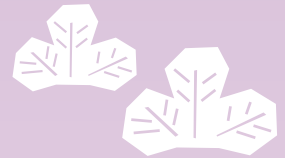
長崎県看護連盟の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年、日本看護連盟総会にて、次期参議院選挙の候補予定者に決定いただき、以来7か月ホップからステップへと活動を展開してまいりました。長崎県には、昨年6月、8月並びに12月と3度お伺いし、多くの皆様とお会いすることができ、本当にありがとうございました。お会いした皆様の笑顔と励まし、そして、皆様との一体感が、次へと向かうエネルギーとなって、元気に活動を続けさせていただいております。

私、たかがい恵美子は、国民のための社会保障を実現するお一人おひとりを守りたい。次の世代にどんな社会を準備しなければならないのか、いのちに寄り添い常に生きる力を守る看護職が気付いていることを、今こそ言葉にして伝え、必要な社会保障のしくみを提案し、その実現のために行動しなければ手遅れになる。そんな危機感をもっています。この危機に対し、どうぞ私を、生きる力を守る仲間の最先峰に立たせ働かせてください。皆様お一人おひとりの情熱とともに、来たる7月に新たなスタート地点に立つための活動に全力を尽くして参ります。

本年3月17日、ふたたび長崎県看護連盟の皆様にお会いできるのを楽しみにしております。これからも変わらぬご支援をお願い申し上げます。



新年に寄せて



長崎県看護協会 長崎県看護連盟
名誉会長 **山口 ミユキ**

謹んで初春のおよろこびを申し上げます。

お揃いで各々に良い新年をおむかえのことと喜んでおります。激動社会のいま、看護界に打ち寄せる荒波、この荒波を長崎県看護協会、長崎県看護連盟会員の組織は決して揺れないで互いを敬い信じ合って、全国で高く評価されているこの現実を更に同志の絆をあたため深め合って前進するのみと信じるとき、

心豊かに力合わせて果そう目的を のひと言に尽きます

昨今を振りかえり前進するのみです。

平成21年度の課題（目的達成に向けて）

1. 基礎研修...看護連盟の必要性が理解できた。
2. 連盟活動に対する賛同者...理解できた中味を賛同者に更に伝える。
3. たかがい恵美子氏の紹介が伝わったかどうか。（確認）

たかがい恵美子氏を正しく紹介できた

平成22年度の課題（組織力強化の達成ができる）

たかがい恵美子と未来を創る会 （後援会）

1. 平成21年度の課題を礎とした活動の達成
それは.....本気・やる気・根気
・自己の責任でやる、やらされることではない
2. 後援会活動と選挙活動について
・後援会活動.....協力者の入会名簿を作成
選挙公示前日まで
・選挙活動.....協力者への依頼は公示の日から
投票の前日まで

絶対違反行為を生じないための活動を切に願っております。

規則を守り、不明な事柄は長崎県看護連盟に必ずお尋ねください。

長崎県看護協会、長崎県看護連盟会員の一致団結こそ、いま、組織力を評価される時です。

さあ、会員同志の皆さま全力投球できる態勢で努力を積み重ね目的を達成させましょう。

益々のご活躍、ご発展、併せてお幸せをご祈念して新年に寄せることばと致します。

長崎県知事選挙を前にして

たかがい恵美子氏、大輪の花を咲かせよう

長崎県看護連盟

～ ポリナビワークショップ紹介 ～

2009年11月25日

近年、「若者の政治離れ」が社会的問題になっていることは、もはや紛れもない事実。そして、悲しい事に私達看護の分野でも同様である。

例えば、「もう少し看護師を増やして欲しい...」「給料を上げて欲しい」「子供を預けて安心して働ける環境がほしい」etc...など単純に不平不満を言っても、ただそれだけでは何も改善しない。

では、これらの声をどのようにしたら良いのか？今、私達に何が出来るか...と考えると、自ずと『ポリナビ』に辿りつく。

* ポリナビとは、看護連盟会員20歳代を中心として、2007年に発足した集まりのことで Politic Navigators' Network の略です。ポリナビでは、「政治」や「政策」の学びを通して、自分達にできることを考え、実行することで、日本の看護・医療がよりよいものになることを目指しています。

ポリナビ (Politic Navigators' Network)
Politic (Politics) 政治・政治学・政治問題
Navigators (指示をする人)
Network (相互に連絡しあう組織)

ここ長崎県でも2年遅れで、ようやく闘志溢れる20歳・30歳代(中には自称若手も若干含む...)の仲間が集まり、2009年9月に発足することが出来た。

何をやるにも初めての事ばかり...不安ばかりが先行する中、とにかくやってみよう!という、濱口実行委員長を始めポジティブ志向のメンバーと共に、2009年10月3日(土)に記念すべき第1回大会を「長崎で活気ある、ポリナビワークショップを立ち上げよう」と題し、開催する事が出来た。

ワークショップは、16名の参加者のもと、ゲーム感覚を取り入れた形で行われた。まず、長崎県看護連盟の金澤会長に挨拶を頂き、濱口実行委員長より「ポリナビ」についての噛み砕いた形で動画も交えたプレゼンテーションを行い、参加者へ本音が言えるアンケートを実施。その後、各チームに分かれ《政権奪取ゲーム》を行った。内容は、各チームが政党となり平日頃職場で抱えている問題を挙げ、それをマニフェストとして発表し、投票する事で政治の流れを理解してもらった。



今回、参加した16名の方々には、更に周囲の皆様にも広げていって頂ける事を願いつつ、私達に共感・賛同・関心を持っていただいた方は是非、ご参加下さい。「さあ、ポリナビ...皆で一緒にやりましょう!!」よろしくお願ひします。

表 1

| | | |
|------|--------|-------------|
| 委員長 | 濱口 哲平 | |
| 副委員長 | 内田 恭一郎 | 坂田 幸利 (会計兼) |
| 書記 | 中富 義人 | |
| 広報 | 中村いづみ | 植松 末広 |

今年、『夏の参院選』... 私達の「手」で私達の「力」で、今こそ一致団結して私達の代表者「たかがい恵美子」先生を国政に送り、「私達の熱い思い」を伝えようではありませんか。

広報担当：中村いづみ・植松 末広



濱口委員長

平成22年4月
開催予定です
ぜひご参加
下さい



平成21年度第1回支部役員徹底研修

支部役員徹底研修に参加して

県南地区第3支部支部長
長崎市医師会看護専門学校
坂田 幸利

平成21年9月5日、JNA ホールで支部役員徹底研修が行われた。清水嘉与子連盟会長より「支部長の役割」のテーマで講演があった。基礎知識として看護連盟の課題、戦後の看護改革の理想と現実、看護界60年の総括、今後の看護の課題についての内容であり、看護政策実現の為、「たかがい恵美子」を国政の場へ送る事の重要性を認識した。

各支部は、「たかがい恵美子」を国政の場へ送る為の第一線の活動主体であり、「たかがい恵美子」のエネルギー源になる。「たかがい恵美子」の魅力を連盟会員、家族、患者に伝えて欲しいと言われた。次に井伊久美子日本看護協会常任理事より「看護政策と政治の動向について」の講演があり、新人看護師の早期離職の問題、教育年限の不足などの問題があり、この問題を解決するには看護基礎教育改革が必要である。その為には保助看法改正が必要になってくる。今回、保助看法が改定されたが、法律になっただけではいけない。それには活動が必要である。今後も看護政策実現には国会議員が重要であり、日本看護連盟・各県の看護連盟が地元の国会議員と関係を密にしておく必要があると言われた。今回の研修にて看護政策実現には協会、連盟、国会議員が一体となって活動する必要があり、来年、たかがい恵美子さんを必ず当選させなければならないと改めて痛感し、支部長としてどのように活動するべきか考えなければならないと思った。

長崎市議会議員との学習会

11/24、8名の市議会議員をまねき「看護教育の現状とこれからの看護教育について」の学習会が開催された。

長崎市医師会看護専門学校 副学校長 副島都志子先生が講師となり、現在の長崎県の看護問題について講義が行われた。

看護師はなにをする人が知ってますか？



看護ってなんだろう？
准看と看護師どっちがうの？



現状の問題

- ・看護学校3年課程（レギュラーコース）が少なく、80%は県外へ出ている。
- ・県外へ行けない人は准看護師学校を受けている（看護師免許をとるためには4～5年かかる）
- ・2年・3年の勉強期間ではカリキュラムが多く、豊かな人間性や人としての成熟を築くことが難しい。

そのために

- ・4年制への期間延長、将来は大学化へ!!
- 看護教育の現状について、様々な問題に多くの議員より共感を得ることができ、解決に向け、「議会にNsの代表を!」と、前向きな発言も聞くことができた。

議会にNsの代表を!



長崎市議会

| | |
|-----------------|-------|
| ・議長 | 吉原 孝 |
| ・自由民主党 長崎支部 幹事長 | 吉原日出雄 |
| 政調会長 | 小森あきと |
| 副支部長 | 前田 哲也 |
| 組織広報委員長 | 宮崎 高舟 |
| 市議会議員会会長 | 興村 修計 |
| 自由民主党会派団長 | 深堀 義昭 |
| 市議会議員 | 東 満敏 |

特別講演

「看護界のこれから」

元法務大臣 参議院議員 南野知恵子先生 講演より



H21 .11 .3 ながさき看護センター

17年目を迎えました。皆さまのお力で一回も落選せず歩かせて頂きました。最後に法務大臣、同時に内閣府の特命担当大臣で青少年育成・少子化対策の役割を頂きました。その中で看護の事で展開できたことは、①妊婦のたらいまわし・NICUが満杯になっている事等の問題、また、②児童虐待防止の観点から生後4か月までの全戸訪問の事などがあります。③保助看法の一部改正では、参議院で

はなかなか賛成が得られない状態にある中、自民党の衆参議員の協力がありました。たかがいさんは既に自民党で公認をもらっています。自民党としては、野党になった今、本当に困った時に看護連盟は支えてくれると、大きな期待を看護連盟に寄せております。たかがいさんの言葉にもありましたが、なぜ野党から出て戦おうとしているのかという事があります。「我々は党派を超えて困っている方々、病弱な方から予防の必要な方がた、高齢者のケアなど幅広くお守りする事が役割である、そういう事を命題にしなが議員活動をする。」たかがいさんの気持ちは皆さま方と同じです。国民の為にどのような看護を展開するのかというのが一番大きなポイントであります。生老病死をケアするのがわれわれ看護職の役割であろうかと思っております。

『看護の視点で今後も政治活動を行っていく』という南野先生のお言葉と山口名誉会長の、『政治・行政の場で受け入れていただく為には1票1票の積み重ね！協会・連盟表裏一体となってこの難局を乗り越えていきましょう』の言葉で講演会を終了しました。

今こそ圧倒的な票で

たかがい
恵美子
さんを



当 選
させよう!!

日本看護連盟
都道府県別
会議より

H21 .11 .16(月)



政策実現のためには与党に所属する必要があるとして、看護連盟の組織代表は自民党から出馬し、看護政策を実現してきた。

自民党内に、・政務調査会看護問題小委員会

・看護問題対策議員連盟 がある。

今回の選挙で自民党から民主党へ政権が移った。「政権与党だから」が通じない、新しい政治体制の下で看護連盟はどうすべきか。

また、政治のあり様ははっきりしない中での早急な結論は、組織の弱体化・信頼喪失につながる。

これまで、自民党からの出馬を前提として活動を積み重ねてきた、「たかがい恵美子さん」は自由民主党公認候補として出馬する。

看護界の総力を上げて、看護の代表たかがい恵美子さんを当選させ、看護職は力があることを社会に見せようではないか！



見て見て!

私達の



日本海員掖済会長崎病院
長崎市樺島町5 - 16

22がポイント!

長崎くんちココロデショの町である樺島町に建つ当院は、定床158床（一般病棟143床、亜急性期病棟15床）の病院です。

当院のユニホームは、動きやすいパンツスタイルで、みんなスニーカーを履きフットワークも軽やかです。白衣は清潔感のある白一色のみですが、病院の外壁は「心を和ませる、優しさ、温かみ」をイメージカラーとするピンクで、まさに看護師のイメージにぴったりですよ。

私たちは、病院の理念である「掖済（病む人の腋に手を添えて救い導くこと）の心で皆様と接します」をモットーに、よりよい看護を目指し頑張っています。



医療法人 仁寿会 南野内科病院
大村市東三城町33

22がポイント!

南野内科病院は、当地での40年の実績を踏まえ、往診をはじめ地域の保健や福祉とも密接に連携し、医療への取組みに力を入れています。また、既存の医療型療養病棟に加え、平成21年12月より回復期リハビリテーション病棟を開設することとなり、職員一丸となってよりよい医療を目指し頑張っています。

看護部では、「癒しチーム」や「口腔ケアチーム」を立ち上げ、「癒しチーム」では、ラベンダー、ローズマリー、ペパーミント等の精油を用いて患者さまにアロママッサージを提供しています。また、「口腔ケアチーム」では、歯科衛生士を中心に口腔内保清に力を入れています。



社会福祉法人 十善会 十善会病院
長崎市籠町7 - 18

22がポイント!

白衣は取り立てて代わり映えはしませんが患者さんのケアに日夜頑張っています。深夜勤明けの笑顔が素敵でしょう！

終わった満足感が顔にでているでしょ！

プチ自慢 当院の開業はなんと1875年（明治8年）なんです。すごいでしょ!!



社会福祉法人 佐世保白寿会
介護老人保健施設 さざ・煌きの里

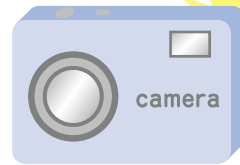
北松浦郡佐々町八口免805 - 2

22がポイント!

私たちは、介護老人保健施設で、高齢者の生活を支える看護を提供しています。

優しいピンクと爽やかなライトブルーのユニホーム（介護施設ではパンツタイプが必須です）で介護職員さんと協力しながら、基本理念でもある『自立支援』と『日々心穏やかに笑顔で過ごせる施設』を目指して頑張っています。

ユニフォーム



公立介護老人保健施設 老健おばま
雲仙市小浜町南本町59

ここがポイント! 平成17年4月1日、日本で最後に認可がおりた老健施設としてオープンしました。入所71名(全室個室)デイケア1日29名まで利用できます。当施設のユニホームは平成21年5月にリニューアルされたばかりで、各職種で上着の色が異なります。看護師はペパーミントグリーンで明るく爽やかな印象です。ジャージ素材で動きやすく、施設の理念である「思いやりの心」をモットーに日々、頑張っています。



長崎市医師会看護専門学校
長崎市栄町2-22

ここがポイント! 当校は長崎市医師会館の中であり3階から7階が学校になっています。昭和27年に開校し現在、助産学科、第1看護学科、第2看護学科、准看護科の4科があり、地域社会に貢献できる看護実践者の育成を行っています。指定された白衣はなく個々の好みで選び着用しています。普段は私服ですが、臨床実習、学内での演習においては白衣で学生の指導を行っています。充実した図書室もありますので近くにいられた際はお寄り下さい。

新入会者研修会 (H21.11.3 ながさき看護センター)

『看護協会と看護連盟の組織活動の違いを理解し、基礎知識を身につける』

? 看護協会と連盟の違いって何だろう? ?

看護協会 保健師・助産師・看護師・准看護師が自主的に運営する看護の職能団体である。主に、政策提言活動を行います。

協会は公益法人だから選挙活動は出来ません

看護連盟 協会の目的達成に必要な政治活動を行います。連盟は、看護者の倫理に基づいて政治・選挙活動を行っている団体である。



私たちがより良い看護をするためには...
1. 個人の努力
2. 質の高い看護を妨げている環境そのものを変える。
3. 制度の改善
これらの条件が必要である。

環境を変えるためには、政治の力が必要!!
↳『ベッドサイドから政治を変える』

ベッドサイドの声を政治に届けましょう!

お知らせ

ステップたかがい恵美子

時 H22. 3. 17(水) 13:30~
場所 長崎県総合福祉センター



21.6 ホップたかがい恵美子 風を興そう長崎県より

平成22年度 長崎県看護連盟総会

時 H22. 6. 5(土)
場所 ながさき看護センター



医療法人 誠愛会
訪問看護ステーション
かしまえ
看護師 吉富智子

子どもがいても安心して働けます

結婚してからは常勤で働くのは難しいと思っていましたが、夫の両親も近くに来て助けてくれるので、思い切ってフルタイムで働き始めました。

この度3人目を出産しましたが、産前産後休暇と育児休暇を合わせて、1年間休ませていただき、本当に助かりました。

常勤としての身分もそのまま、再び同じ条件で仕事に戻れることは、本当にありがたいことです。制度はあっても、休みづらいとか後ろめたいなど、そのプレッシャーに負けて退職する人も正直多いと思います。

しかし、今後やる気があり、仕事を続けながら、育児にも向き合うスタッフが長く働くことが出来るように、このような制度をどんどん利用してほしいと願います。この制度があり、一緒に働く上司、同僚の協力があつたことに感謝します。

会員の声



医療法人 健正会
大久保病院
田代由里香

映画の紹介

結婚し子育てと仕事で、家と職場の往復といった毎日を過ごしてきました。2年半前にある中学校教師に出会い、自分も少し「動いてみよう」と思いました。するといかに自分が無知だったか...。少しだけ動けば動いている人に出会うんですね。そこでまた新たな繋がりができていきます。「自分一人では何もできないと最初から思って何もしようとしなかった自分が、微力ながらも何かの役に立っていることの嬉しさは周りにも影響しています。自分が笑えばとなりの人も笑う。自分が動けば周りも動く。小さな力もたくさん集まれば大きなすばらしい力となります。」一人の100歩もいけど100人の一歩二歩を大切にしていきたいと思っています。

今回みなさまにぜひご覧いただきたい映画があります。「ぼくのヒーローはすぐそばにいた！」です。すべてドキュメントです。

私を感じる事ができた(命とは、生きるとは、仲間の力とは、愛とは...)がたくさんつまっています。(奇跡は連鎖するのです!)見なきゃ損!あなたの看護の力もさらに大きくなること間違いなしですヨ。

107+1

-天国はつくるもの-

ぼくのヒーローは
すぐそばにいた!

てんつくマントークライブ 17:30~
2010. 1. 23(土) 島原文化会館

編集後記

8月の衆議院議員総選挙の結果の政権交代、我々の看護界にも大きな変化の波がおし寄せてきたように思います。

従来、日本看護連盟は看護政策実現のため国会の政権与党へ代表をおくり、歴代の先輩が立法化に力を注ぎ成果がみられています。

今回、日本看護協会は連盟擁立の候補者を支持しないことになりましたが長崎県看護協会は従来どおり今後も「たかがい恵美子さん」を応援していくことを確認しました。我々看護職者が安心して働け安全な看護を実践していけるよう、看護協会員、看護連盟会員として「たかがい恵美子」を国会に送りましょう。表紙の写真は健康保険諫早総合病院の皆様です。

